

## PARTE I (N1 – N4)

---

N 1 b

【正答率】64.4%

F1: Oh, mi scusi! Non l'avevo vista...

F2: Sì, io la scuso, ma lei perché non guarda un po' dove cammina?

Per poco non mi faceva cadere! Sempre con quel coso in mano!

【訳】(女1)あら、許してください！ あなたを見ていませんでした……。 (女2)ええ、私はあなたを許しますが、自分の歩いているところを、少し見てはいかがですか？ あと少しで、あなたは私を転倒させるところでしたよ！ いつも、その何とかを手を持って！

N 2 c

【正答率】71.1%

F1: Oh, che carino!

F2: Ti piace?

F1: Molto. Ma è tuo?

F2: No, è di mia figlia. Me l'ha lasciato per oggi.

F1: Lo posso accarezzare?

F2: Sì, certo. Non morde.

【訳】(女1)まあ、何てかわいいの！ (女2)好き？ (女1)とても。でも、あなたなの？ (女2)いいえ、私の娘のよ。今日は私に預けたの。(女1)なでてもいい？ (女2)ええ、もちろん。噛まないわ。

## PARTE II (N5 – N8)

---

N5 a

【正答率】82.2%

F: Ma, Carlo... Ma cosa hai messo in frigorifero?! C'è un odore... un odore terribile!

M: Un odore?... Ah, sì, dev'essere il formaggio.

F: Formaggio? Sembra qualcosa di marcio...

M: Beh, sì, è un po' stagionato e allora, sai, l'odore è un po' forte. Ma è buonissimo, sentirai...

F: Ma non potevi metterlo in un contenitore ermetico, almeno? Ora chissà per quanto tempo resta il puzzo nel frigo. Sei proprio terribile, guarda... Una volta il pesce, un'altra il formaggio... lo

sai che non lo sopporto!

DOMANDA: Che cosa c'è nel frigorifero?

- a) Del formaggio
- b) Del pesce
- c) Qualcosa di marcio

【訳】(女) まあ、カルロ……。一体何を冷蔵庫に入れたの?! 臭いが……ひどい臭いがするわ! (男) 臭い? ……ああ、そうだ、きっとチーズだ。(女) チーズ? 何か腐ったものみたいよ……。 (男) まあ、そうだね、少し熟成していて、だから、ほら、臭いが少し強いんだ。でも、とてもおいしくて、君にも今に分かるよ……。 (女) でも、せめて、それを密閉容器に入れられなかったの? これでは一体どれくらいの間、冷蔵庫に悪臭が残ることか。あなたは本当に手に負えないわね、もう……。ある時は魚、またある時はチーズ……。私がそういうことに耐えられないのを知っているでしょ!

(問)何が冷蔵庫の中にありますか? a)チーズ b)魚 c)何か腐ったもの

N6 b

【正答率】61.8%

F1: Scusa, Anna, te lo posso chiedere un grosso favore?

F2: Certo, Sandra. Di che si tratta? Dimmi...

F1: Domani sera io e Franco dovremmo andare a cena fuori con dei nostri amici. Ce lo potresti tenere Macchia? Sai, non ha ancora un anno, è ancora un cucciolo. Se lo lasciamo solo si mette ad abbaiare, disturba i vicini...

F2: Beh, sì, d'accordo.

F1: Sei un tesoro!

F2: A che ora me lo portate?

F1: Verso le sette. E prima delle undici lo veniamo a riprendere. Promesso!

DOMANDA: Cosa chiede Sandra all'amica?

- a) Di andare a casa sua a guardarle il bambino
- b) Di tenerle il cane mentre lei e Franco escono
- c) Di andare a cena fuori con lei e con Franco

【訳】(女1) ごめんなさい、アンナ、あなたに大変なお願いをしていい?(女2) もちろんよ、サンドラ。どんなこと? 言ってよ……。 (女1) 明日の晩、私とフランコは、友人たちと外に夕食に行くことになってるの。私たちのマッ

キアを預かってくれるかな？ ほら、まだ1歳にもなっていないくて、まだ子犬なのよ。独りにしておくと吠えだして、ご近所さんに迷惑をかけるの……。 (女2) そうなのね、分かったわ。(女1) あなたが大好きよ！ (女2) 何時に私のところに連れて来るの？ (女1) 7時頃。そして11時までには、また迎えに来るわ。約束する！

(問) サンドラは何を友人に頼みますか？

- a) 彼女の家に行って子供の世話をすること
- b) 彼女とフランコが外出している間、犬を預かること
- c) 彼女とフランコと外に夕食に行くこと

**N7 c**

**【正答率】77.8%**

M1: Ma tu Giulia dove l'hai conosciuta? Non siete mica compagni di scuola, vero?

M2: No, no. Lei ha fatto il liceo classico, io lo scientifico. E poi è più piccola di me, di due anni. Lei è la sorella di un mio compagno di classe, Giorgio, che tu non conosci. Io andavo spesso a casa loro e così... ci siamo conosciuti, siamo diventati amici e...

M1: ...e alla fine vi siete innamorati!

M2: Esatto.

DOMANDA: Dove ha conosciuto Giulia?

- a) A scuola
- b) In classe
- c) A casa di Giorgio

【訳】(男1) ところで君は、ジューリアをどこで知ったの？ 同級生というわけではないよね？ (男2) 違うとも。彼女は文系高校を出て、僕は理系だよ。それに僕より2つ年下なんだ。彼女はジョルジョという、君が知らない僕のクラスメートの妹さ。僕はよく彼らの家に行っていて、それで……知り合って、友達になって、そして……。 (男1) ……そして最後に、恋人になったんだね！

(男2) その通り。

(問) どこでジューリアを知りましたか？

- a) 学校で b) クラスで c) ジョルジョの家で

N8 b

【正答率】68.4%

M: Certo che me lo ricordo. E come potrei dimenticarlo? Credo di non essermi mai imbarazzato tanto in vita mia. Lei mi piaceva molto, ma avevamo solo sedici anni e non avevo mai baciato una ragazza prima di allora. È stato a una festa, mentre ballavamo stretti stretti un brano lento... È stata lei a prendere l'iniziativa, a posare le sue labbra sulle mie. Io sono diventato tutto rosso, mi sembrava che tutto il mondo ci guardasse... E allo stesso tempo mi sentivo in paradiso.

DOMANDA: Di cosa parla?

- a) Del suo primo ballo
- b) Del suo primo bacio
- c) Di una brutta avventura

【訳】(男)もちろんそれを覚えています。どうして忘れられるでしょうか？ 人生の中であれほど困惑したことは、一度もなかったと思います。私は彼女がとても好きでしたが、私たちはわずか16歳でしたし、それ以前に一度も女の子にキスをしたことはありませんでした。それはあるパーティーで、私たちがスローな曲に合わせて、体をぴったりと寄せて踊っていた時のことでした……。彼女の方がリードして、自分の唇を私の唇に重ねてきました。私は真っ赤になって、世界中が私たちを見つめているような気がしました……。それと同時に、天国にいる気分がしました。

(問) 何について話していますか？

- a) 初めてのダンスについて
- b) 初めてのキスについて
- c) あるひどい出来事について

**Primo ascolto (N17 – N19)**

F: A Napoli il primo presepe fatto interamente... di pizza! La grotta della natività, la Vergine Maria e San Giuseppe, l'asinello e il bue, il bambin Gesù e tutti gli altri personaggi tipici, fatti di impasto e salsa di pomodoro. La trovata di una pizzeria napoletana è davvero originale. Mettere insieme due grandi simboli della città: la pizza e il presepe. L'opera d'arte è esposta all'esterno della pizzeria, per la gioia di cittadini e turisti, incantati dall'estro e dall'originalità dei pizzaioli napoletani.

(adatt. da: <http://napoli.fanpage.it>)

【訳】(女) ナーポリで初めてプレゼーペ(クリスマスに飾る模型)の全てが、あるもので作られました……それはピッツァです！ 降誕の洞窟、聖母マリアと聖ヨセフ、ロバと牛、赤ちゃんイエスとそのほか全ての特徴的な人物たち、それらが生地とトマト・ソースで作られています。ナーポリのあるピッツェリアの発想は、本当に独創的です。町の二大シンボル、ピッツァとプレゼーペを合体させるとは。この芸術作品は、市民や観光客を喜ばせるために、ピッツェリアの外に展示され、彼らはナーポリのピッツァ職人の靈感と独創性に魅了されています。

(<http://napoli.fanpage.it>に加筆)

**N17 b**

【正答率】24.0%

【訳】「ピッツァのプレゼーペ」はナーポリの有名な料理だ

**N18 a**

【正答率】84.0%

【訳】全てがピッツァ用の生地とトマト・ソースで作られたプレゼーペだ

**N19 b**

【正答率】59.1%

【訳】この芸術作品はピッツェリアの中にある

## Secondo ascolto (N20 – N22)

F: Luigi Chierico, 65 anni, è un allevatore di Valle Salimbene, in provincia di Pavia. Verso la fine degli anni Ottanta si è dato una missione: salvare le razze bovine in via d'estinzione. A distanza di quasi 30 anni, dei 200 capi che possiede solo una cinquantina sono comuni vacche di razza frisona. Le altre fanno parte di 23 razze autoctone, italiane ed europee, che rischiano di scomparire perché ritenute dal mercato “poco produttive”. Oggi però Chierico, conosciuto da tutti nella zona come il “Noè delle mucche”, fatica ad andare avanti, soprattutto a causa del crollo del prezzo del latte, e rischia di chiudere la sua attività.

【訳】(男)ルイージ・キエーリコ、65歳は、パヴィーア県にあるヴァッレ・サリンベーネの畜産家です。1980年代の末頃、彼は自分にある使命を課しました。それは絶滅しつつある牛の品種を救うこと。30年ほど経って、彼が所有する200頭のうち、ホルスタイン種の一般的な雌牛は約50頭だけです。その他はイタリアまたはヨーロッパが原産の23品種に属し、「生産性が低い」と市場から見なされているので、姿を消す危機にあります。しかし現在、地域の全員から「乳牛たちのノア」として知られるキエーリコは、特に牛乳の価格の下落のせいで、経営していくのが苦しく、その仕事をやめる危機にあります。

**N20 a** 【正答率】52.4%

【訳】ルイージ・キエーリコは複数の牛の品種を飼育している

**N21 b** 【正答率】55.6%

【訳】彼の雌牛の大半は一般的な品種だ

**N22 a** 【正答率】84.9%

【訳】彼はその仕事によって、「乳牛たちのノア」として有名だ

## PARTE I (N23 – N43)

---

**N23 b** 【正答率】66.2%

【訳】私はヨーロッパ全体をざっと訪問したことがあるので、それを結構知っていると言えます。【解説】visitare「～を訪問する」は他動詞なので、訪問する対象が直接補語になります。したがって、前置詞がある a)と c)は不適切です。「～全体、全ての～」は、〈tutto + 定冠詞 + 名詞〉と表現するので、b)が正解です。

**N24 b** 【正答率】64.9%

【訳】もしもあの日、私が君の立場だったら、同じことをしたでしょう。【解説】文脈は「実際には君だったが、もしも仮に私だったなら」という、過去の事実と反する仮定なので、接続法大過去 *fossi stato* の b)が正解です。

**N25 b** 【正答率】66.7%

【訳】代名詞の結合形に関して、人は簡単に間違ふ。【解説】まず、c)の *li ci* という語順はないので、不適切です。*Sbagliare* を他動詞として使うとき、直接補語だけを置き、間接補語は置きませんので、d)の *me li* は不適切です。一方、再帰動詞として使うとき、直接補語は置きませんので、a)の *se li* は不適切です。再帰動詞を非人称の *si* と共に使うときは、再帰代名詞の *si* と非人称の *si* の連続を避けるため、*ci si* とします。非人称の表現は文脈に合うので、b)が正解です。

**N26 c** 【正答率】62.2%

【訳】これは、私がこの選択をすることに決めた理由です。【解説】後半の節に、「その理由によって」を意味する〈*per il motivo*〉を補うと、文が成り立ちます。前半の節の *il motivo* を先行詞として、前置詞 *per* と共に、2つの節を結びつける関係代名詞は *cui* なので、c)が正解です。d)の接続詞 *perciò* 「だから、したがって」は、前文の内容から導かれる結論が次に述べられることを示すので、文脈に合いません。

N27 c

【正答率】37.8%

【訳】彼は嘘つきです。彼がどのような事を言っても、君は彼を信じてはいけません！【解説】不定形容詞 *qualunque*「どのような～でも」は、〈*qualunque*＋名詞＋接続法の動詞〉という構文で関係詞の役割をして、「どのような～しても」という譲歩の節を導きます。接続法現在の *dica* は文脈に合うので、c)が正解です。

N28 d

【正答率】66.7%

【訳】ある有名な俳優が、図書館で何冊か本を盗んだために逮捕されたと、私は聞きました。【解説】文脈から、俳優が既に逮捕されたと分かるので、動詞は過去形を使います。受動態は〈*essere*＋過去分詞〉または〈*venire*＋過去分詞〉で表しますが、*venire*の方は近過去などの複合時制では使えません。したがって、*essere* を使った受動態の近過去の d)が正解です。

### PARTE III (N53 – N59)

---

【訳】トリーノのど真ん中、ミラーノ通りにある店「フリースホーム(解放された家)」のショー・ウィンドーのガラスの向こう側では、シチーリア州からヴァッレ・ダオースタ州まで、全国に点在する 16 の牢獄に関わる、非常に特殊な物語が見つかります。というのは、まさにそれらの刑務所で製造される品物が、この極めて特別な販売所、つまり「メイド・イン・牢獄」の商売を専門とするイタリアで最初の販売所に置かれているからです。「バンダ・ビスコッティ(ビスケット隊)」の囚人たちによってヴェルバーニアで作られるお菓子、ヴェネーツィアのジュデッカ島から到着する化粧品、ナーポリ県ポッツオーリの刑務所からやって来るコーヒー……。これらは店で買える商品のいくつかにすぎません。ここでは、ラゲーサの牢獄から届く「スプリジョニアモ・サポーリ(風味を出獄させよう)」のシチーリア菓子を味わったり、トリーノ刑務所の印刷工房によって制作された物品を購入したりもできます。さらには、パン類、ボトル・ワイン、塩味のスナック、そしてデザイン雑貨、Tシャツ、カラフルなバッグまでも。

イタリアの刑務所の内部で活動する社会共同組合のグループを 1 つにまとめる「フリースホーム」は、私たちの国の刑務所システムに価値・プロ意識・意欲をもたらすことによって、社会復帰をうながす労働というものの効力を示すことを目指しています。その目標は、1975 年の法律第 354 号が述べると



ころ、つまり「牢獄内における労働は、囚人の社会復帰のための基本的な要素の一つである」を実現することです。したがって、ミラーノ通りの店は単なる販売所ではなく、非常に重要な手段なのです。トリノ市の所有で、施設、共同組合、刑務官、囚人、そしてボランティアが協力を進めた結果として、去る10月の末にオープンしました。「フリードホーム」の各共同組合は、この店が次々と後に続く店の1つ目にすぎないことを願いつつ、将来は店員のなかに元囚人も入れようと考えています。

今日イタリアでは、5万人の囚人のうち1,000人以上が、牢獄内で、食品から工芸・繊維・手工業まで、さまざまな分野で労働して、自分の時間を使っています。

「フリードホーム」計画によって示される社会的な価値の他には、販売される品物の質のことがあります。購入する人は、美味しく、美しく、上手にできているという理由からも、購入するのです。

**N53 b** 【正答率】65.3%

【訳】「フリードホーム」の店はトリノの牢獄の中にある

**N54 a** 【正答率】72.9%

【訳】この取り組みの主な目的は、囚人たちの社会復帰だ

**N55 b** 【正答率】24.0%

【訳】店は協同組合のグループの所有だ

**N56 a** 【正答率】75.1%

【訳】店では刑務所で作られた品物が販売される

**N57 b** 【正答率】89.8%

【訳】「フリードホーム」の店員は全て元囚人だ

**N58 a** 【正答率】33.3%

【訳】現在、イタリアの牢獄では、労働する囚人は10%未満だ

**N59 a** 【正答率】92.0%

【訳】客が「フリードホーム」の品物を買うのは、その質を評価しているという

理由からでもある

## PARTE IV (N60)

---

【訳】「昨日ジョルジさんは……」イラストを見て、話を続けてください。(120から150語の間で)

【模範解答例】Ieri il signor Giorgi si è alzato alle sette e un quarto, quando la sveglia ha suonato. Ha aperto la finestra e fuori c'era il sole. Si è fatto la barba ascoltando la musica e la mattina ha lavorato un po' in giardino. Ha tagliato l'erba e ha annaffiato i fiori. Dopo è andato a pranzare al ristorante.

Dopo aver pranzato, è andato al parco. Mentre leggeva il giornale su una panchina, degli uccelli si sono avvicinati e lui gli ha dato da mangiare. Improvvisamente, però, il cielo è diventato molto nuvoloso. Siccome ha iniziato a piovere, lui è tornato a casa in fretta, riparandosi con il giornale. Quando è arrivato a casa era tutto bagnato, e anche il suo giornale. L'ha asciugato con l'asciugacapelli e ha steso i suoi vestiti ad asciugare. Poi finalmente, seduto in poltrona, ha potuto leggere con calma il suo giornale. (150 parole)

【訳】昨日、ジョルジさんは目覚まし時計が鳴った7時15分に起床しました。窓を開けると、外には太陽が出ていました。音楽を聞きながらひげをそり、午前中は少し庭仕事をしました。芝生を刈り、花に水をやりました。その後、レストランに昼食に行きました。

昼食をとった後、公園に行きました。ベンチで新聞を読んでいた時、鳥が何羽か寄って来て、彼はそれらに餌をやりました。ところが突然、空に多くの雲が出てきました。雨が降り出したので、彼は新聞で雨をよけながら、急いで帰宅しました。家に着いた時、彼はずぶぬれで、新聞もそうでした。彼はそれをドライヤーで乾かし、服を乾かすために干しました。その後ようやく、1人掛けソファーに座って、ゆっくりと新聞を読むことができました。(150語)